# 次世代証券システムの構築―レガシーシステムの再生―

**いま証券会社では、金融自由化、グローバル化、サービスの多様化の時代を迎え、これまで築き上げてきた膨大なシステム資産のリストラクチャリングが求められている。しかし、巨大なレガシーシステムをスムーズに更新することは簡単ではない。本稿では、日常の業務を行いながらシステム再生を実現する方法について考察する。**

## 次世代証券システムに求められるもの

証券会社では金融自由化による新規参入者の増加、T＋1（約定日翌日決済）対応をはじめとしたグローバル化、IT（情報技術）利用の進展による顧客サービス多様化、コンプライアンス（法令遵守）の徹底という背景のもとで、いっそうの経営基盤強化が求められている（図１参照）。そのなかで経営がシステムに求めるものは、以下のように整理することができる（図２参照）。

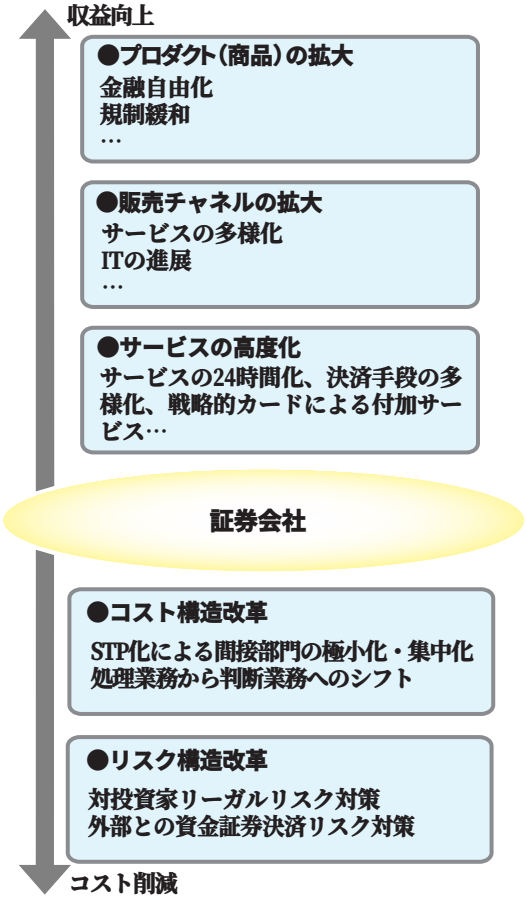


**図１　証券会社のビジネス戦略**

①顧客サービスの向上

資産管理型商品や年金型商品など取扱商品の拡大や、新店舗・インターネット・コールセンターなど顧客接触チャネルの拡大に対応することが求められている。また、サービス時間の延長、決済手段の多様化、グループ会社などとの連携による利便性の向上も、顧客サービスの面から必要になっている。

②リスク削減

平成13年４月から施行されたいわゆる金融二法（「金融商品の販売等に関する法律」および「消費者契約法」）を踏まえ、トラブルの未然防止の観点から、フロントコンプライアンス機能の充実や、管理情報のタイムリーな提供によるコンプライアンス徹底への対応が求められている。

また、業務システムをT＋1に準拠させ、業務の即時完結化を図ることにより、資金証券決済リスクを軽減し、事務処理ミスをなくすことが必要である。



レポートに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。すべての内容は日本の著作権法及び国際条約により保護されています。
Copyright © 2001 Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.

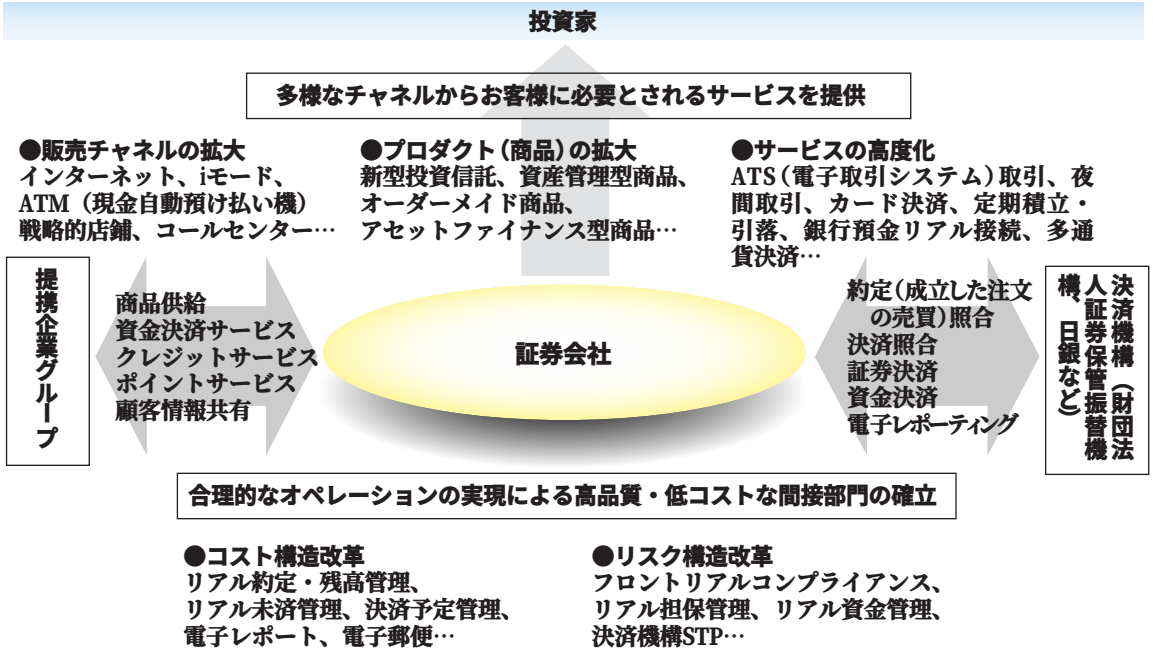


**図２　証券会社が求める新しいシステム要件**

③コスト削減

Ｔ＋１にともなう業務全般のSTP（ストレート・スルー・プロセッシング：全電子処理）化により、間接部門コストの極小化を図る必要がある。

## 次世代証券システム構築上の課題

上記のような課題に応えられる証券システムサービスを実現することは簡単ではない。既存業務をサポートする業務システム群と、それを取り巻く環境が次のような課題をもっているからである。

①旧式なレガシーシステム基盤

総合証券会社の業務をサポートするシステムは、コンピュータ利用の初期段階からの歴史があり、技術的な背景から大型汎用コンピュータシステム上で構築されている場合がほとんどである。大型汎用コンピュータシステムは、サーバー系システムに比べて旧式な技術・方式で構築されている場合が多く、人材面、開発ツール面の制約から開発生産性が低い基盤である。

②大規模かつ複雑なシステム

証券業務は多岐にわたり、それぞれの領域で長年の経験が蓄積されている。これらの業務をサポートするシステム規模は膨大なもので、継ぎ足しや迷路が多く、どこから対応したらよいか難しい。

③機能集約（一括処理）型のシステム構造

既存システムは、システム処理の観点から



レポートに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。すべての内容は日本の著作権法及び国際条約により保護されています。
Copyright © 2001 Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.

機能を集約し効率的に構築されている。したがって、たとえばある業務の都合で口座処理に関する変更が必要となった場合、基幹部分である総合口座システムの変更が必要となってしまう。総合口座システムを変更すると、プロセスとして連結した一連のシステムすべてがテストの対象となる。つまり、業務的には部分的な対応が、システム的にはそれだけにとどまらず、思った以上の時間と工数を要することになる。

④つねに変化するシステムプライオリティ

証券会社の内部事情に関係なく、日々の業務を遂行していくためにシステムが対応しなければならない課題はつねに発生し続ける。また、経営環境変化のスピードは早く、対応しなければならない課題の優先順位は時間とともに変化していく。

⑤維持管理業務に埋没するシステム部門

システム部門は、あるべきシステムの方向性はわかっているものの、日常の課題への対応に追われ、なかなか抜本的なシステム対応に着手できないというのが現状である。

### 次世代証券システム構築の基本的な方針

次世代証券システム構築にあたって、上記の課題を現実的に解決しつつ、求められるサービスを提供していくためには、以下の方針に基づくアプローチが必要である。

①開発・移行・サービス提供の段階的な実現

システムの規模、業務対応も含めた人的リソース面、経営・業務環境の変化による緊急対応などを考えると、システム全体を一斉に開発し移行することは、サービス提供までに要する期間の長さ、および途中での計画変更発生時の影響を考えると現実的ではない。したがって、システム対応の優先順位を踏まえた部分的な構築からスタートし、全面的な移行へと進んでいけるような構造を志向するべきである。

②自前主義からの脱却と外部システムとのスムーズな接続性

リーズナブルなコストでタイムリーにシステムを構築していくためには、すべてを自前で構築するのではなく、戦略的に自社で対応する部分を除いては、外部システムの活用も選択肢として合理的に判断していくことが必要となる。

また、T＋1対応や他社連携によるサービスの高度化にともない、外部システムとの接続はますます増加し、また重要になっていく。そのため、端末、ホストコンピュータ、サーバー、外部システムという、異機種、異環境のシステムが混在する環境でシステムサービスを提供できなければならない。

### レガシーシステムの再構築

NRI（野村総合研究所）は、前節の基本的な方針に基づき、基幹業務を支える大規模なレガシーシステムを再生させるためには、段階的な移行を実現させるプラットフォームの



レポートに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。すべての内容は日本の著作権法及び国際条約により保護されています。
Copyright © 2001 Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.

構築と、業務目的別のシステム構築の２つの方策が不可欠であると考えている。

（１）プラットフォームの構築

異機種、異環境のシステムが混在するなかで、迅速なサービス提供を実現するためには「接続性」に優れたプラットフォームが必要である（図３参照）。

このプラットフォームは、以下の３つの接続性の確保を図ることにより、対応にかかる期間の短縮を可能とする。

①ユーザーインタフェースの接続性

営業店端末、携帯端末、オンライントレード端末といった複数のデバイスと個々のサービス提供システムとの接続にWeb技術を採用し、端末はWebサーバーとの接続により基本的に各種サービスが受けられるようにする。

②社内業務システム間の接続性

さまざまな業務処理要件に応じて、大型汎用コンピュータとサーバー間、サーバーとサーバー間などを容易に連結するインタフェース機構を組み込む。

③外部システムとの接続性

社内業務システムと取引所、各種機構、他の金融機関などとの連携が、それぞれの相手に対応して容易に行えるインタフェース機構を組み込む。

（２）業務目的別のシステム構築

既存のシステム機能を業務目的によって分割し、目的別にプラットフォーム上でサーバーシステムを構築していく。

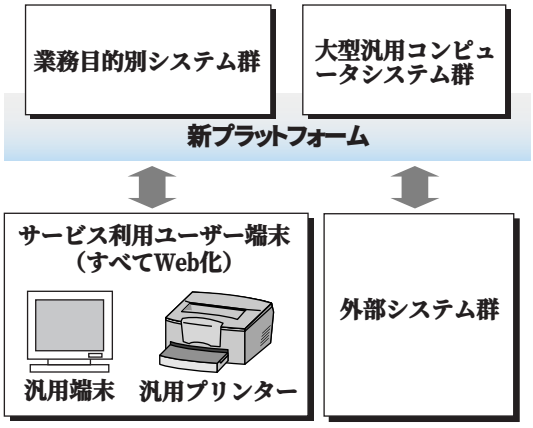


**図３　次世代システムの構成イメージ**

プラットフォームは、大型汎用コンピュータシステム（既存システム）とサーバーシステムの共存が可能な基盤であり、優先順位が高いテーマから業務目的別システムを順次、構築していくことを可能にする。業務目的別システムは外部のシステム（パッケージ）でもよい。新規開発に比べコストや開発対応期間などの面でメリットがあれば、システム間のインタフェースを規定し、プラットフォーム上で連携させていくことで共存可能である。

証券業界以外のどのような業界であっても、巨大なレガシーシステムを再生させるのは困難な作業である。重要なことは、将来展望を明確にし、現実と理想をバランスさせた上で、以上に述べたような方針・方策に基づいたシステム再生を目指すことである。

（野村総合研究所　余吾公徳）



レポートに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。すべての内容は日本の著作権法及び国際条約により保護されています。
Copyright © 2001 Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.